

保護者の皆様、暑いなか保護者面談にご足労いただき、ありがとうございます。今号は、**生徒向けの内容も多いため、ぜひお子さんと一緒にお読みいただければ幸いです。**



さて、いよいよ夏休みとなりました。1年生はこれまでに高校生活のリズムをつくることができましたでしょうか？ 2年生はこの時期目標を見失いがちで、いわゆる中だるみになってはいませんか？

「夏を制する者は受験を制す」とは昔から言われておりますが、これは3年生に限ったことではありません。1、2年生にとっても、これまでの総復習と苦手克服・学習方法の確立などが、この夏の課題となります。中でも「**自己コントロール力**」「**計画&実行力**」をつけるのにとってもよい機会です。それらが達成できる夏休みとなることを心から期待します。

本校の進路状況をまとめた冊子『**進路要覧**』(令和4年度版)が完成し、

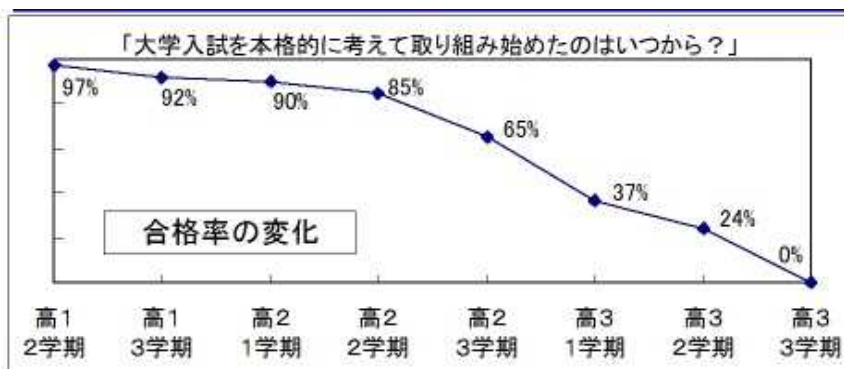
6月下旬に**生徒たちに配布**しました。内容は、

- ・卒業生の進路状況(大学、短大、専門学校、就職、公務員の合否結果)
- ・推薦選抜について(指導の流れや指定校一覧など)
- ・就職について(指導の流れ)
- ・先輩たちの合格体験記

ぜひ、保護者の皆さんもご覧になってください。

1. 受験に向けた学習

◎ 受験勉強のスタート時期と合格率



第一志望に合格した人のほとんどは、遅くとも高2の秋までに大学入試を見据えて本格的に受験勉強を始めています。

<本格的に受験勉強を始めるとは？>

- ・一気に学習時間を何時間も増やすということでは決してない。
- ・日々の学習(授業・宿題・予復習)を徹底する。
- ・宿題はやらされているのではない。一題一題を受験勉強の1つと捉える。
- ・宿題以外で、**自分のために自分で考えた課題**(毎日少しずつ積み重ねていけるもの)を課す。1日10分程度からのスタートでよい。毎日実行する。1日10分でもそれは立派な受験勉強といえる。3年生に向けて少しずつ内容と時間を増やしていけばよい。

2. 夏休みを有意義に過ごそう

(1) 夏休みの日課表を作成しよう

部活動などの予定をもとに、夏休みの日課表を作りましょう。

ポイント

■起床・食事・就寝・学習開始時間を固定する

夏休みも生活リズムを一定に保つことが大切です。毎日同じくらいの学習量を確保できるように、学習開始時間を決めておきましょう。

(2) 「学習計画」を立てよう

課題や自分の弱点を克服するための学習計画を立てましょう。事前にしっかりと計画を立てておくことが、夏休みにスムーズに学習を始めるためのポイントです。

ポイント

■学校の課題に最優先で取り組む

まずは、夏休みの課題を確実に終わらせることを最優先にしましょう。夏休みの課題には、7月までの学習のポイントが多く含まれているので、課題にしっかり取り組むことで、復習もできます。

■苦手分野の復習に取り組む

時間がある夏休みは、苦手分野を克服するチャンスです。苦手だと思うところがある人は、ぜひ、この夏休みに復習に取り組んでみましょう。



■毎日の学習記録をつける

何時間学習したか、計画通りに取り組めたかを毎日振り返り、記録するようにしましょう。毎日振り返ることで、すぐに軌道修正を行うこともできます。

(3) 進路について考えよう

夏休みが明けると、次年度に向けて、1年生は「**文系・理系の選択**」、2年生は「**学部・学科&入試科目の検討**」が必要となります。

これから進みたい方向がはっきりと見えていない人は、夏休み中に、「どんなことに興味があるのか」「高校卒業後に何を学びたいのか」「将来どんな仕事に就きたいのか」など、自分の将来や夢についてじっくりと考えてみましょう。また、夏休みには多くの大学・専門学校で**オープンキャンパス**が行われます。今年度は、コロナの影響も少し緩和されてきており、実際にキャンパスに行っている開催が増えています。ただし、予約制をとっているところが多く、人気の学校はすぐに受付が終了してしまいます。参加希望の学校のホームページを常にチェックし、予約漏れがないようにして下さい。また、ネットでの学校紹介や個別相談会も引き続き実施している学校もあり、こちら積極的に活用していきましょう。

3. 入試情報のチェック

○ 大学入試改革について

一昨年度から「センター試験」が『**大学入学共通テスト**』に代わりました。社会環境が大きく変化している中、求められる力が変わってきていることによります。

このことから大学教育が変わり、大学入試改革につながっています。新しい入試の特徴は、

「①知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力などを重視する」

「②能力・意欲・適性などを多面的・総合的に評価する」となっています。

高校の3年間でどのような活動をしてきて、どのような力が身についたのかが、一層問われるようになります。

○ 大学入学共通テストについて

現3年生が受験する「令和5年度大学入学共通テスト」の実施要項が6月に発表になりました。

<令和5年度大学入学共通テスト時間割>

試験日	試験教科・科目		試験時間
令和5年 1月14日(土) (第1日)	地理歴史 公民	「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」「倫理、政治・経済」	2科目選択 9:30～11:40 1科目選択 10:40～11:40
	国語	『国語』	13:00～14:20
	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	【リーディング】 15:10～16:30 【リスニング】 17:10～18:10
令和5年 1月15日(日) (第2日)	理科①	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」	9:30～10:30
	数学①	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」	11:20～12:30
	数学②	「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」 『簿記・会計』『情報関係基礎』	13:50～14:50
	理科②	「物理」「化学」 「生物」「地学」	2科目選択 15:40～17:50 1科目選択 16:50～17:50

- ・思考力・判断力・表現力を問う問題とするために、**文章量や資料などの情報量が増え、より「読解力」が必要**となりました。例えば、数学の出題では「太郎さんと花子さんの会話文形式の問題」などが出題されました。
- ・英語のリスニングでは、「1回読み（以前は2回読み）」の大問もありました。

★ 共通テストの平均点について

- ・共通テスト初年度が、比較的**平均点が高めのやや易しめの問題**だったのに対して、2回目の今回は**難化し平均点が大幅にダウン**しました。ただ、次回がその反動で易くなるかということそうとも言い切れません。文科省が公開している平均点の目標設定は、センター試験の時は6割だったのに対して、共通テストでは5割だからです。
- ・平均点が大きくダウンした科目

数学ⅠA	数学ⅡB	日本史B	生物	化学
-19.7点	-16.9点	-11.5点	-23.8点	-10点



★ 現1年生が受験する「新課程・新科目」の共通テストについて

※現時点で判明している内容

- ・科目「情報Ⅰ」の追加（国立大では必須とする方針。ただし活用の仕方は今後発表）
- ・数学②の科目が「数学ⅡBC」に一本化して、時間が10分延長
- ・国語が10分延長
- ・地歴公民は、科目の大幅な変更により、2科目受験の際はその組み合わせに注意

○ 英語の資格・検定試験の入試活用について

「各大学・学校ごとに資格やスコアを入試に活用する方式」が**拡大**しています。

英検などの資格取得には、低学年（高校1年時）から積極的に取り組み、ぜひ

2年生の3月までに英検準2級取得、卒業までに2級取得を目標

に励んでほしいと思います。

○ 「推薦選抜」と「総合選抜」について

① 出願時期・合格発表時期の変更（一昨年度から）・・・以前より遅くなっています

- ・推薦選抜 「出願時期：11月以降」「合格発表時期：12月以降」
- ・総合選抜〔旧A0〕「出願時期：9月以降」「合格発表時期：11月以降」

② 試験内容の変更

従来の面接や小論文に加えて、「大学入学共通テスト」または「教科・科目に関わる学力テスト」、「口頭試問」、「プレゼン」などを課す大学が増加し、より『学力』が求められることとなります。